

第11回 議会報告会 片丘地区 記録（概要）

令和2年2月7日(金) 午後7時から 片丘多目的研修センター

◎ワークショップ

テーマ 少子高齢化時代のコミュニティづくり

子どもたちに片丘の良さを残したい（子育てや教育にどうかかわるか？）
住み慣れた地域で安心して暮らすには（福祉全般、緊急時の対応など）

1班

① 片丘（塩尻市・長野県）の良いところはなにか？

- 自然豊か
 - ・ 自然に恵まれ、空気がきれいで夜空の星がきれい！
 - ・ 高ボッチの自然と景色が素晴らしい！
 - ・ 山麓線からの北アルプスの眺めが素晴らしい！
- 交通・災害
 - ・ 高速道路に近く、渋滞がなく移動しやすく災害が無い地域
- きよりが良い
 - ・ 住民同士の関係が濃く、隣近所との付き合いが十分に取れている

② 片丘の課題は何か？

- 人口減少と土地利用
 - ・ 単身高齢者世帯と空き家が増えている。
 - ・ 住宅地が少なく、若年人口が減少し子供の数が少ない。
 - ・ 医院が少なく、特に産婦人科医院がないため、里帰り出産ができない。
 - ・ 独身男性が多く、家の新築が難しいため若者の地区外転出が増えている。
 - ・ 緑・芝生・噴水やベンチのある公園がなく高齢者が憩える場所が無い。
- 農業・商業・交通
 - ・ 農業後継者が少なく、遊休農地が増加している。
 - ・ 商店が少なく、公共交通機関（振興バス）が不便でお年寄りの買い物が大変。
 - ・ 働く場所が少なく、若者の地域定着が危ぶまれる。

③ テーマを実現させるためには何が必要か？

- 土地利用
 - ・ 調整区域を見直し、新たな住宅団地や商業施設の誘致を計画する。
 - ・ 自分の農地に家の新築が許可されるように制度を改正する。
- 住民協働・助け合い
 - ・ 片丘お助けネットのPRを広く実施。

- ・ 地域づくりの住民活動を区民に呼びかける。
- 生活・結婚問題
 - ・ もうかる農業を目指し、貧困化を防ぐ。
 - ・ 未婚化を防止する体制づくりを皆で考える。

2班

① 片丘（塩尻市・長野県）の良いところはなにか？

- 自然環境
 - ・ 自然に恵まれている
 - ・ 自然が豊か。
 - ・ 自然が他県より多い。
- 景観
 - ・ 風光明媚で、水・空気が美味しい。
 - ・ 夜景がきれい。
 - ・ 類を見ない山麓線からの景色が良い。
- 住み心地
 - ・ 静かなところ。
- 住民
 - ・ 元々 住んでいる方が多い。
 - ・ 地域の皆があたたかいと思う。
- 経済
 - ・ ワインぶどうの栽培広まる。
 - ・ ワイナリーが出来た。
 - ・ 自然エネルギーによる自給

② 片丘の課題は何か？

- 農林業
 - ・ 農作物を動物に食べられてしまう。
 - ・ 松くい虫被害。
 - ・ 農地の休耕が多くなった。
- 交通
 - ・ 交通量が多くなった。
 - ・ 朝夕の出勤退社時の交通渋滞。
 - ・ 県道が狭い。
 - ・ 赤木線の車が、制限速度30kmを守っていない。（郵便局から君石交差点間）
 - ・ 安全エリアの不足
- 住宅
 - ・ 空き家が増えている。

- ・ 調整区域で家がたたらない。
- 少子高齢化
 - ・ 人口減少
 - ・ 少子化・高齢化
 - ・ 子供が少ない。
- 後継者問題
 - ・ 独身者が多い。
 - ・ 農家の後継ぎ
 - ・ 農業の後継者がいない。
- 高齢者独居問題
 - ・ 店が少なく、車の無い人が難儀している。
 - ・ 雪かき
 - ・ 「お助けネット」希望者がいるが、ボランティアが少ない。
- 公共施設
 - ・ 派出所・JA がなくなった。
 - ・ 文化施設・美術館があればいいな。
 - ・ 企業が少ない
 - ・ お店・病院が少ない。（口頭で『無い』と）
 - ・ 娯楽施設が無い。
- 個人情報
 - ・ 個人情報という問題が起きても、行政等から情報を出してもらいたい。

③ テーマを実現させるためには何が必要か？

- 地域づくり
 - ・ 地域整備未来投資法の具体化
 - ・ 市の都市計画の進捗状況と今後の方向付け
- 住宅
 - ・ 住宅団地の建設
 - ・ 線引き（農地調整区域）を外す。
 - ・ 君石団地の入居をバランス良くする。
 - ・ 車いすの方が2回に住んでいるが、災害時等の対応
- 若者たち
 - ・ 若者の流出を防ぐ魅力ある地域づくり。
 - ・ 若者たちの出会いの場づくり
 - ・ 都会に一局集中しない国策
- 公共施設
 - ・ 小学校周辺の整備・支所の建て替えに向け検討。
- 高齢者
 - ・ お助けネットの要望事項の検討。

- コミュニティ
 - ・ 足湯など、住民が気軽にくつろげる場所づくり。
- 住民の団結
 - ・ 行政と地域が密着し、出来ることがあればいいと思う。

3班

① 片丘（塩尻市・長野県）の良いところはなにか。

- ・ 山麓線からの眺めが素晴らしい。
- ・ 自然が豊か、目の高さにある北アルプス等。
- ・ 夜景の美しさはピカー。
- ・ 空気おいしい。静か。
- ・ 五千石街道の家並みが素敵。
- ・ 災害が少ない
- ・ 歴史がある。
- ・ 住んでいる人が真面目な人が多い。情の深い人々。人が親切。
- ・ 子どもの挨拶が良い。子どもの仲が良い。
- ・ 区及び常会のまとまりが良い。近所がほど良い関係。
- ・ 公共施設が多い。保育園、小学校の庭が広い。

② 片丘の課題は何か

- ・ 恥ずかしがりやが多い。隣近所の掛け声が少ない。
- ・ 行事（三九郎など）の担い手が減っている。
- ・ 人が集まりたくなるコミュニティーセンターがほしい。
- ・ 公共交通機関が少ない。
- ・ お店が遠く車が必要。商店が少ない。
- ・ 医療機関（歯科医院のみ）が少ない。
- ・ 空き家が多い。
- ・ 転居（新築）が難しい。
- ・ 坂が多い。道路が狭い。道路事情が悪すぎる。
- ・ 観光地が少ない。
- ・ 若者が帰る所（会社）が少ない。
- ・ 小学校単級の解消。子どもが減っている。
- ・ 自己肯定感をもちにくい子どもが増えている。
- ・ スマホ、ゲーム、SNS等低年齢化。

③ テーマを実現させるためには何が必要か。

- ・ 素敵な温泉をつくる。ホテルを呼ぶ。
- ・ 高ボッチ山麓の公園化。
- ・ 農地利用（農業をやる人が少なくなっている）

- ・ 地域全体でのノーメディアデー。
- ・ みんなが体操運動して元気である。子どもが体を動かす機会をつくる。
- ・ デマンドタクシー。
- ・ 支援するボランティア育成。
- ・ 他の地区（日本・外国）の人が見学に来るような支所を作る。
- ・ 団地を10年に1回のペースで誘致、造成する。
- ・ 県道バイパスの早期実現。
- ・ テーマに沿って、その道のプロにアドバイスをあおぐ。

4 班

① 片丘（塩尻市・長野県）の良いところ

- ・ 災害が少なく自然が豊かで、山麓線からの松本平の眺望がすばらしく、田んぼにはホタルもいる。
- ・ 誇るべき文化や歴史が残っており、特に片丘小学校は、創立147周年になる。
- ・ 工業団地があり、最先端のバイオマス発電所（Fパワープロジェクト）が進行中。
- ・ 人の心がまじめで、助け合いたいという気持ちが強く、近所付き合いが良く高齢者が頑張っている。
- ・ 農地が守られ、農産物に良いものがある。最近では、ワイナリーやぶどう畑ができた。

② 課題は何か

- ・ 地域を中心核が乏しい（公共施設、商業施設、飲食店など）
- ・ 片丘線の交通量が増え、渋滞が多い。
- ・ 結婚していない人が多く、子どもも少ない。高齢化が進んでいる。
- ・ 未満児保育の待機児童対策が必要。
- ・ 地域の利便性、家賃の高さ、空き家の未利用、職場の不足などから、住みたくても住めない要素がある。
- ・ 子どもの域外流出が多く、後取りがない家庭が多い。
- ・ 地域を担うリーダー、役員、消防団員などのなり手が不足している。足をひっぱる。
- ・ 働き盛りの世代の横のつながりが希薄になっている。
- ・ 農産物の価格が低下しており、仕事として魅力を感じない。

③ テーマを実現させるために何が必要か。

- ・ コミュニティ活動の見直しが必要（不要な役員の種類や人数を減らし、時代に合った新たな役を作る。若者・よそ者・ばか者を活用する。役員報酬を見直すなど）
- ・ かたおかおたすけ隊の報酬増やポイント制の導入などで、機能を充実させる。
- ・ 人と金の選択と集中をして地域づくりをする。
- ・ コンパクトシティに向けた取り組みとして、生活基盤の整備が必要。（多機能の支所の新築、商業施設の整備、バスの充実、漸進的な宅地造成など）
- ・ Uターン・Iターンがしやすい、企業誘致などの取り組み。

- 映画のロケ地誘致、温泉、農産品のPRなど、地域の魅力の発掘発信が必要。
- 農地を集約化し、地区外からの農業者を増やす。
- 少子化対策として、地域をあげた婚活、元気づくり広場への幼児の参加を促す。